◆ 遠隔システム 取扱説明書

【 遠隔システム操作方法 】

①操作卓左側(書画装置下)の収納棚にある遠隔タッチパネルを(右ボタンを押しながら)ドキングステーション(充電器)より取り外し、遠隔卓へ移動します(棚の鍵は10号館(本館)1階事務室内教務担当より貸出)

②操作パネルの左上にある「POWER」を「ON」にします

③「遠隔」のボタンを押します

④「大画面」「ワイヤレスマイク」「有線マイク」「遠隔」の音量を上げます

⑤遠隔卓上の「遠隔」ボタンを押しますタッチパネルが起動します。

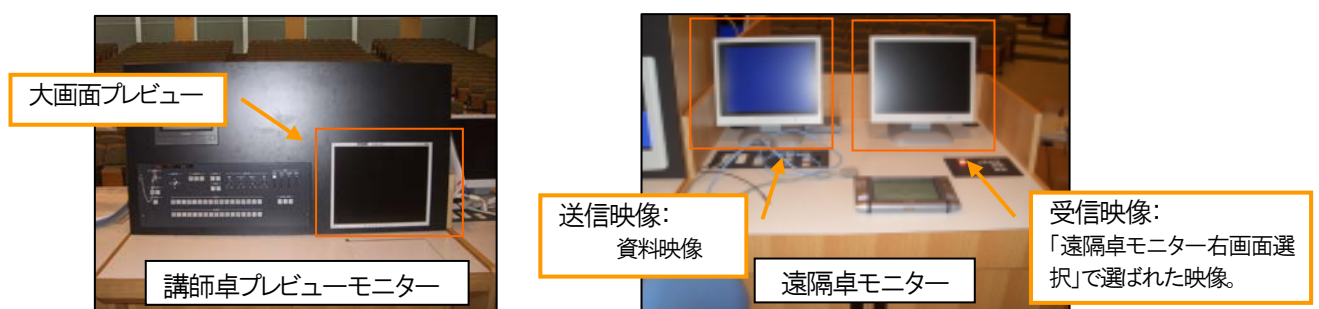
起動中のメータが100%になると自動的に「授業選択」画面になり操作が可能となります。

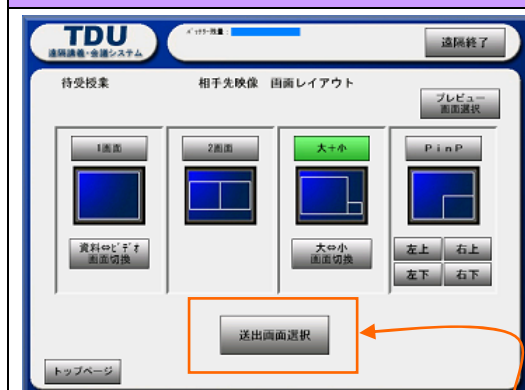
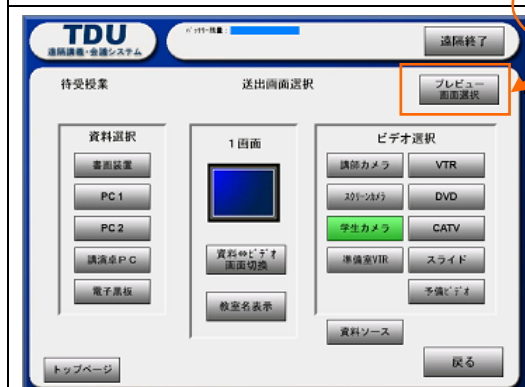
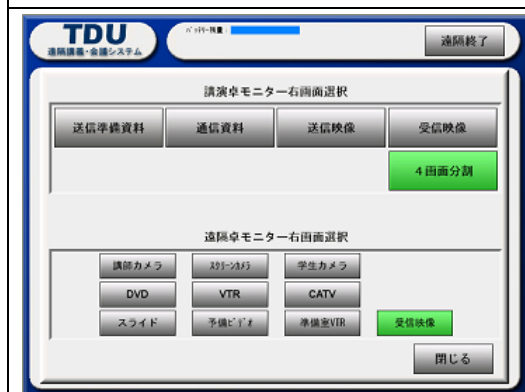
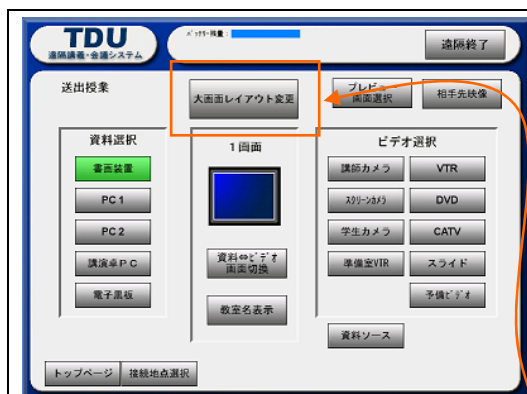
【 タッチパネル使用上の注意事項 】

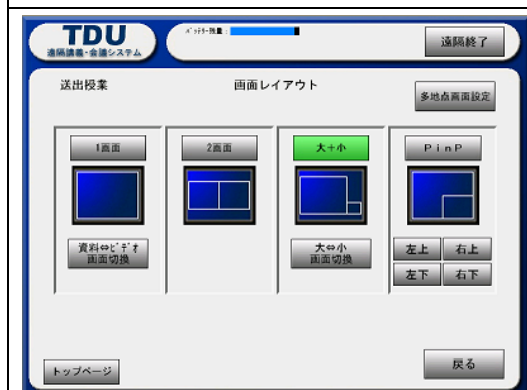
・画面をタッチパネル付属のタッチペン以外の尖ったもの(鉛筆・針等)で操作しないでください。

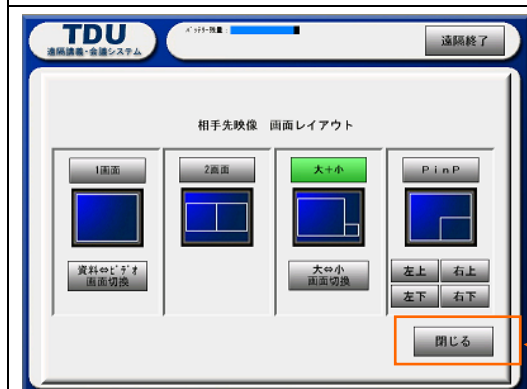
・装置へ振動を与えるような行為は行わないでください。

・使用中に画面の清掃を行わないでください。誤操作及び故障の原因となります。

【 各モニター説明 】

【 タッチパネルの操作方法 】

	システム起動中表示のあと、「授業選択」が表示されます。 「待受授業」･･･他の地点から授業内容を受信するときに選択します。 「送出授業」･･･プレゼンテーションホールから授業内容を他の地点へ送出する場合に選択します。 →「送出授業」の説明は④へ。

待受授業	
	①**「画面レイアウト」**でプレゼンテーションホールの大画面に映す画面表示を選択します。 ・ **「1画面」** 画面全体でひとつの映像を映します。「資料⇔ビデオ　画面切換」でビデオ映像と資料映像を切り換えます。 ・ **「2画面」** 資料とビデオ映像を映します。 ・ **「大+小」** 資料を大小で表示します。「大⇔小　画面切換」で切り替わります。 ・ **「PinP」** 大画面の中に小画面が表示されます。「右上」「右下」「左上」「左下」で小画面が移動します。
	②**「送出画面選択」** 質問等で受け手であるこちらから発信元に資料を提示する場合に使用します。**「画面レイアウト」**から**「送出画面選択」**を選ぶと表示されます。 ここで選んだ資料（ビデオ）映像が発信元に送信されます。 **「資料⇔ビデオ　画面切換」**で送信映像を切換えることができます。プレゼンテーションホールの大画面にも同じ映像が映ります。
	③**「講演卓モニター右画面選択」** **「遠隔卓モニター右画面選択」** **「プレビュー画面設定」**をタッチすると、左の画面になり、卓上の各モニターのプレビュー画面を選択できます。 ※講演卓右モニターの初期状態は、4画面分割になります。遠隔卓右モニターの初期状態は、受信映像になります。

送出授業	
	④「**接続地点選択**」 「**送出授業**」を選択すると左の画面が表示されます。接続地点を選択します。
	⑤「**接続先選択**」 地点を選択するとそのキャンパスの各教室が表示されます。（左図は神田の例） 接続したい地点をタッチすると緑色に反転します。もう一度押すと消えます。 地点を選択したら「**接続**」をタッチして下さい。 ※　キャンパス問わず最大5カ所まで複数選択したあと、「接続」できます。
	⑥接続中は左のような画面になります。 接続が完了すると青色に反転します。 失敗すると赤色に反転します。再接続は一度「**切断**」してから再度「**接続**」し直して下さい。
	⑦送出する地点への接続が完了したら、「**戻る**」をタッチして「**接続地点選択**」画面へ戻り、「**授業開始**」をタッチします。

⑧授業が開始されると左の画面になります。初期画面では大画面に書画が表示されます。相手先には、資料ソースが「書画装置」ビデオソースが「講師カメラ」の映像で送信されます。

※ 「**教室名表示**」をタッチすると送信先の画面上に学部名や教室名が表示されます。

⑨「**大画面レイアウト**」

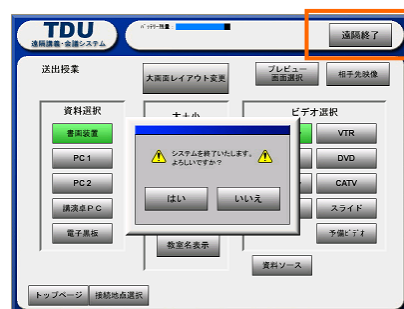
「**大画面レイアウト変更**」をタッチすると左の画面になり、プレゼンテーションホールの大画面に映す画面表示を選択します。（詳しくは「待受授業①」を参照して下さい）。

⑩「**相手先映像　画面レイアウト**」

質問等で、受け手である相手先から資料を提示する場合に使用します。「**相手先映像**」を選ぶと、相手先が送出した映像（資料）が自動的にこちらの大画面に表示されます。この画面の「**閉じる**」をタッチすると自動的にこちら側の映像に戻ります。

⑪遠隔授業を終了する場合は、右上にある「**遠隔終了**」をタッチすると画面上に左記の窓が表示されます。

「はい」を選ぶと遠隔の各機器の電源が切れます。

「**遠隔終了**」はどの状態でも表示することができます。

EX.

【 電源の切り方 】

操作パネルの左上にある「POWER」を「OFF」にします

注）システム内の全ての機器は「POWER」によりON、OFFが行われますので、各個別機器の電源は切らないでください。

※ ご不明な点がありましたら、総合メディアセンター（内線：6734）にお問い合わせください。

平成 21 年 4 月作成